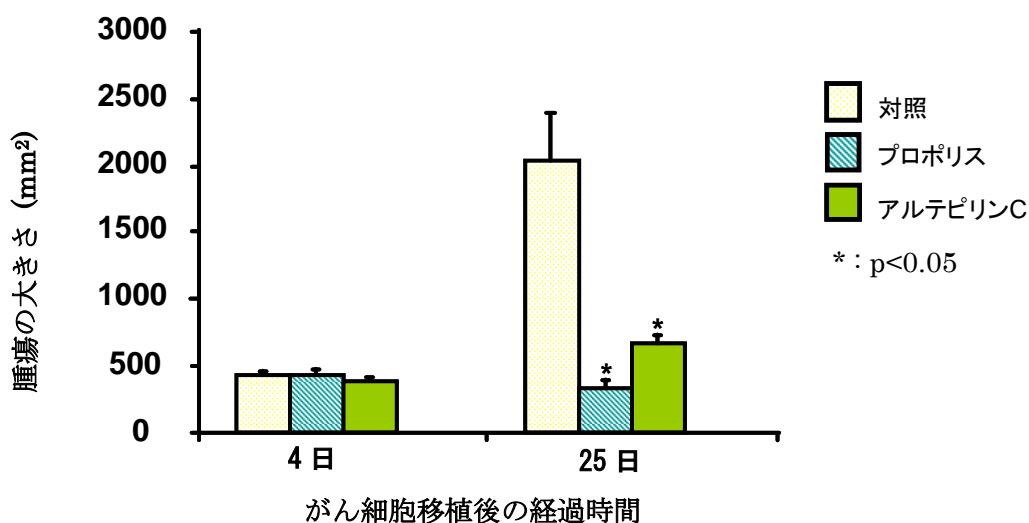


ハンブルク大学医学部との共同研究成果を国際学術誌に発表

ブラジル産プロポリスが 神経線維腫を抑える

プロポリス^{注1}等のミツバチ産物を製造・販売する株式会社 山田養蜂場(本社:岡山県鏡野町、代表:山田英生)は、ハンブルク大学医学部 丸田 浩^{まるた ひろし} 教授と共同研究を行い、**ブラジル産プロポリスとその主成分のアルテピリンC^{注2} が、特定疾患^{注3}のひとつである神経線維腫^{注4}を抑える**ことを確認しました。更にその作用メカニズムのひとつとして、**がん細胞の増殖に関わるタンパク質“PAK1”の活性を抑える**ことを明らかにしました。この成果は、国際的な学術誌である“Phytotherapy Research”に掲載されました。

図1：プロポリスエキスとアルテピリンCによる神経線維腫細胞の増殖抑制



試験方法：神経線維腫の細胞を移植し、ブラジル産プロポリスエキスまたはアルテピリンCを与えて、移植後4日目と25日目の腫瘍の大きさを比較しました。

結果：ブラジル産プロポリスエキスおよびアルテピリンCは、神経線維腫が大きくなることを有意に抑えました。

本件に関するお問い合わせ

株式会社山田養蜂場 文化広報室 寺田、畑
〒708-0393 岡山県苫田郡鏡野町市場 194
TEL:0868-54-1906 (月～金 9:00～17:30、土日祝除く)
FAX:0868-54-3346 <http://www.3838.com>